

# JPACS/ePHDS 勉強会開催案内

## 医療における ASP・SaaS の活用(その2)

----- 民間事業者による外部保存を踏まえて -----

日本 PACS 研究会/ePHDS 委員会

新政権下で再始動した IT 戦略においても、ヘルスケア分野の取り組みが重点政策に位置づけられており、「地域の絆の再生」として「どこでもMY病院」構想の実現あるいは「シームレスな地域連携医療の実現」が挙げられています。また、「地域医療再生基金」の「地域医療における情報連携のモデル的プラン」の中では「地域医療連携情報システム(XDS)が参考として取り上げられています。こうしたシステムを実現する為にはセキュリティの確保が重要とされており、医療機関や関係者には格別の安全管理措置が義務づけられてきたことで、これまで医療における情報化の ASP・SaaS の普及促進にとって高いハードルとなっていました。

このような状況において、関係省庁による議論により「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第4.1版(厚生労働省)」、「ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン(総務省)」、「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン(経済産業省)」が整備され、外部保存に対する対応方法が明確化されてきました。

これをふまえ、2010年2月に外部保存通知が改正され、上記ガイドラインの遵守を前提に、これまで外部保存に係る場所の内、「医療機関等が震災対策等の危機管理上の目的で確保した安全な場所」という箇所が「医療機関等が民間事業者等との契約に基づいて確保した安全な場所」に改正され、ASP・SaaS の利用への道が開かれました。

今回も前回の勉強会で好評だった本テーマを引き続いて取り上げましたが、背景となる IT 戦略や、当研究会で作成した XDS ハンドブックに関連する講演も取り入れました。安全な医療情報の保存や ASP・SaaS の利活用について、少しでも医療情報分野で関係される皆様の参考になればと考えています。今回も多数の皆様の参加をお待ちしております。

日 時： 2011年1月14日(金曜日) 12:45-16:50(12:15 受付開始)

場 所： フクダ電子(株) 本郷事業所 本郷新館 1F (<http://www.fukuda.co.jp/company/map.html>)

No.	時間	タイトル	(分)	講師
1	12:45	どこでもMY病院構想	45	内閣官房 情報通信技術(IT)担当室 技術参与 西原 栄太郎
	13:30	Q&A	5	
2	13:35	ASP・SaaS の事例紹介 ① 地域医療連携における ASP・SaaS の事例紹介 ② PACS の ASP サービス 所有から利用へ ③ 医用画像外部保存サービスの提供について	75	① ASPIC 医療・福祉研究会リーダー 富田 茂 ② (株)メディカルストレージ 代表取締役社長 田村 光司 ③ 菱洋エレクトロ(株) 技術本部長補佐 兼 市場開拓プロジェクト統括補佐 岩井 五郎
	14:50	Q&A	5	
	14:55	休 憩	15	
3	15:10	医療における ASP・SaaS に関するガイドラインについて	45	保健医療福祉情報安全管理 適合性評価協会(HISPRO) 理事長 喜多 紘一
	15:55	Q&A	5	
4	16:00	「地域医療連携情報システム(XDS)構築ハンドブック」の紹介	45	京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科 教授 細羽 実
	16:45	Q&A	5	

参加費：	日本 PACS 研究会会員企業	¥3,000・(資料代)
	大学、医療機関関係者(要 ID)	¥4,000・(資料代込み)
	会員以外(企業)	¥10,000・(資料代込み)

参加方法：下記の事務局宛に(参加者氏名・所属・e-mail アドレス)をご連絡下さい。

事務局：jpacs@quantum-inc.jp (締切り：2011年1月7日 12:00)

なお、客席数(60名)に限りがありますので、満員となった場合は、受付を終了いたします。

日本医療情報学会医療情報技師ポイント(予定)：参加者に1ポイント付与。当日「受講証明書」を発行します。

お問合せ先：日本 PACS 研究会事務局

TEL: 03-5684-1636 FAX: 03-5684-1650 E-mail: jpacs@quantum-inc.jp

\* 写真・ビデオ撮影は事務局・講演者の許諾がある場合を除いて禁止致します。